

テーマⅣ たての響き ～平行移動する和音の響きを楽しもう

爪

曲・森山 至貴

詞・みなづき みのり

この曲のできること

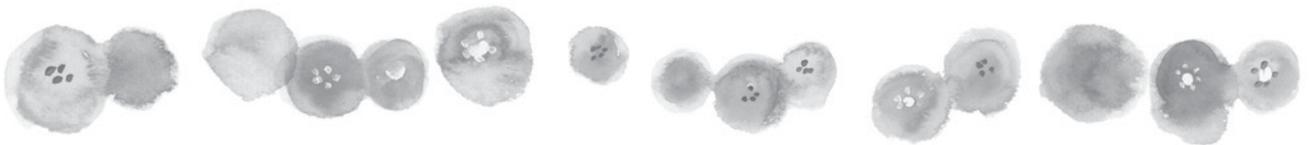
メロディに対する音程感覚を養いつつ、平行移動する和音の響きを楽しむエチュードです。複数のユニットの順番や構成を自由に決め、合唱団ごとの個性あふれる楽曲に仕上げていくプロセスも楽しめます。

★作曲者による作品解説

みなづきみのりさんの「爪」という作品から詩句を再構成し、作曲しました。楽譜には二つの声部がありますが、同じメロディを5度ずらして記譜したものです。この二つ(実質一つ)のメロディラインを土台にして、さまざまな和音の平行移動を各合唱団で考え、演奏してみてください。また、五つの部分の順番を入れ替えたり、部分ごとの手拍子の有無を自由に決めたりしてかまいません。少人数でも演奏できる曲ですので、一つの合唱団をいくつかのグループに分けて、それぞれに自由に楽曲を設計してもらい、団内発表会をするのも面白いと思います。

♪うたいかた

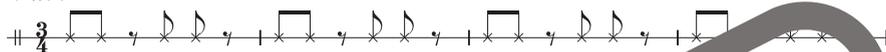
- まず、全員で上下どちらかの旋律を歌ってみましょう。
それほど難しくはありませんが、歌詞の恐ろしい雰囲気あまり伝わりませんよね？
- そこで、上下二つのパートに分かれ、常に和音が平行移動するように歌ってみましょう。
団の実力に応じて、さらに楽譜末尾の譜例を参考に三つ、あるいは四つのパートに分かれて歌ってみましょう。最初に歌った時よりも歌詞の雰囲気が表現できていると思えたら成功です。
- 実演の際は、まず冒頭の手拍子パターンを演奏したあと、そのまま手拍子が続けつつ[A]から[D]を好きな順番に並べて適宜「分裂」させながら演奏します。各セクションは反復してもかまいません。各セクションの反復の中で単旋律から和音に「分裂」したり、その逆に「統合」したりしても面白いですね。テンポとダイナミクスおよびその変化は自由です。
- 最後は[E]を演奏して終了です(もちろん[E]を何度か繰り返してもかまいません)。
- 譜例にない新しい「分裂」の方法もぜひ編み出して試してみてください。四つより多くのパートに「分裂」すると、もっと恐ろしい雰囲気を生み出せるでしょう。
- 混声合唱、もしくは男声合唱で演奏する場合は、適宜オクターブ移動をしてください。



爪

曲・森山至貴 / 詞・みなづきみのり

手拍子



A

つめをとぐ わたし の か だ の る け も
 つめをと わたし から に こ る け も の

B

つめの さ ぎ で よ の し ず く を ひ る
 つめの さ で よ る の し ず く を ろ っ て い る

C

たい の ひ かり に け て
 たい こ つ き の ひ かり に む け て
 こ ろ の そ の や み に む け て
 こ の そ こ の や み に む け て

D



あ え か に こぎゅう る フォルム ー

あ え か に こぎゅう フォルム ー



おしだまつ て うた く ー ー

おしだまつ いる く

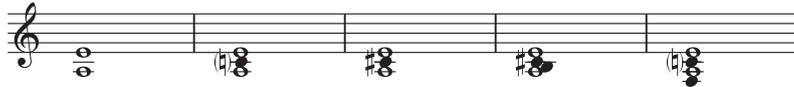
E



うらぎり う く ふくしゅう たたかい うらぎり ほうふく ふくしゅう たたかい

うらぎり ほうふく ふくしゅう たたかい

二部 三部 (1) 三部 (2) 四部 (1) 四部 (2)



C G F# G C

